



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 福留ハム株式会社

コード番号 2291 URL <http://www.fukutome.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中島 修治

問合せ先責任者 (役職名) 経理支援部長

(氏名) 明石 嘉典

TEL 082-278-6161

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	14,057	2.5	91	35.6	111	25.0	43	—
25年3月期第2四半期	13,718	△5.9	67	△75.7	89	△67.7	△5	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 90百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △86百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	2.59	—
25年3月期第2四半期	△0.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	16,866	5,174	30.7
25年3月期	17,601	5,134	29.2

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 5,173百万円 25年3月期 5,133百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,800	△0.2	420	28.2	400	14.5	170	△1.4	10.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	17,000,000 株	25年3月期	17,000,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	300,362 株	25年3月期	298,712 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	16,700,408 株	25年3月期2Q	16,702,628 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

*この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

*本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～9月30日）におけるわが国経済は、政府による経済対策や日銀の大規模金融緩和などの効果により、円高の是正や株価上昇の兆しもみえ、緩やかな回復基調となりました。しかしながら、新興国経済の減速、米国金融政策等、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、主原料、包装資材及び燃料の高騰により製造コストが上昇し、また、消費者の節約志向は引き続き強く、依然として厳しい環境で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、「お客様第一にあふれる味覚をお届けします」をモットーに「安心・安全・美味しさ」を追求し、経営理念のさらなる浸透を図るとともに、コンプライアンスを重視した社員教育を実施いたしました。また、製造コスト等の上昇が当社の経営を強く圧迫する要因となっている状況のなか、作業効率の改善や仕入の見直しを重視し、コスト削減努力を継続して行なっており、8月より納品価格の改正等を行っております。

販売に関しましては、当社の登録商標である「ロマンティック街道」シリーズ、“ザ・広島ブランド（味わいの一品）”に認定されているロングセラー商品の「サクラ咲く花ソーセージ」、昨年発売の「ポークボロニアステーキ」や「くまモン」をパッケージに使用した商品などを中心に販売強化を図ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、140億57百万円（前年同四半期比2.5%増）となりました。利益につきましては、営業利益は91百万円（前年同四半期比35.6%増）、経常利益は1億11百万円（前年同四半期比25.0%増）、四半期純利益は43百万円（前年同期は5百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

加工食品事業

加工食品事業につきましては、主原料、包装資材及び燃料の高騰により製造コストが上昇し、消費者の節約志向は引き続き強く推移しているものの、昨年発売の「ポークボロニアステーキ」や「くまモン」をパッケージに使用したウインナーは好調に推移し、全体の落ち込みをカバーいたしました。

その結果、売上高は66億7百万円（前年同四半期比2.4%増）、セグメント利益（営業利益）は2億79百万円（前年同四半期比20.8%増）となりました。

食肉事業

食肉事業につきましては、国産豚におきまして、輸入豚肉の代替需要の増加から高値が継続し、売上高は微増となりました。一方、国産牛におきましては、消費低迷からの回復がみられるものの、出荷頭数の減少と牛肉消費回復による価格上昇により、売上高は微増となりました。輸入ミートにおきましては、円安と現地価格の上昇に伴い販売価格が上昇し、売上高は微増となりました。

その結果、売上高は74億49百万円（前年同四半期比2.5%増）、セグメント利益（営業利益）は25百万円（前年同四半期比51.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産等の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ7億34百万円減少の168億66百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ7億12百万円減少の74億88百万円となりました。主な要因は、現金及び預金2億67百万円と受取手形及び売掛金6億18百万円の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ21百万円減少の93億78百万円となりました。主な要因は、ソフトウェア仮勘定16百万円と投資有価証券の評価替等99百万円の増加、有形固定資産91百万円の減少によるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ7億74百万円の減少の116億92百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ5億51百万円減少の85億84百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金93百万円、未払金88百万円及び短期借入金2億95百万円の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2億22百万円減少の31億7百万円となりました。主な要因は、長期借入金2億42百万円の減少によるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ39百万円増加の51億74百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金47百万円の増加によるものであります。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1億67百万円減少の32億13百万円（前連結会計年度比5.0%減）となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、3億77百万円（前第2四半期連結累計期間は5億65百万円の資金獲得）となりました。主な要因は、減価償却費1億97百万円、売上債権の減少6億18百万円及び、たな卸資産の増加2億13百万円、仕入債務の減少1億20百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、98百万円（前第2四半期連結累計期間は28百万円の資金使用）となりました。主な要因は、定期預金の払戻による収入1億円、有価証券の償還による収入50百万円及び有形固定資産の取得による支出42百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、6億43百万円（前第2四半期連結累計期間は3億63百万円の資金使用）となりました。主な要因は、短期借入金の純減額2億20百万円、長期借入金の返済による支出3億18百万円、配当金の支払額50百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成25年5月15日に公表いたしました業績予想の変更はしておりません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,651,825	3,383,948
受取手形及び売掛金	3,286,437	2,668,204
有価証券	50,000	—
商品及び製品	826,241	937,183
仕掛品	44,581	43,559
原材料及び貯蔵品	223,261	327,074
繰延税金資産	103,550	99,902
その他	24,408	33,333
貸倒引当金	△9,504	△5,055
流動資産合計	8,200,801	7,488,151
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,232,059	2,151,743
機械装置及び運搬具(純額)	337,038	357,534
土地	3,347,087	3,344,656
リース資産(純額)	288,651	259,552
その他	24,804	24,888
有形固定資産合計	6,229,641	6,138,375
無形固定資産		
電話加入権	21,201	21,201
ソフトウェア仮勘定	—	16,210
その他	3,656	3,481
無形固定資産合計	24,857	40,892
投資その他の資産		
投資有価証券	1,927,223	2,026,851
出資金	85,517	85,507
敷金及び保証金	131,322	127,662
保険積立金	34,081	34,081
繰延税金資産	915,991	880,252
その他	245,119	237,828
貸倒引当金	△193,331	△192,663
投資その他の資産合計	3,145,922	3,199,519
固定資産合計	9,400,422	9,378,787
資産合計	17,601,223	16,866,938

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,541,103	2,447,566
短期借入金	5,493,400	5,197,500
未払金	491,730	403,492
未払費用	88,587	90,955
未払法人税等	163,270	81,849
賞与引当金	209,277	215,743
リース債務	106,152	104,253
その他	42,774	43,421
流動負債合計	9,136,296	8,584,781
固定負債		
長期借入金	833,900	591,800
退職給付引当金	2,023,006	2,058,244
役員退職慰労引当金	244,931	253,194
リース債務	188,126	160,635
その他	40,379	43,736
固定負債合計	3,330,344	3,107,610
負債合計	12,466,640	11,692,392
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,691,370	2,691,370
資本剰余金	1,503,937	1,503,937
利益剰余金	590,128	583,357
自己株式	△74,460	△74,951
株主資本合計	4,710,975	4,703,713
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	422,625	469,846
その他の包括利益累計額合計	422,625	469,846
少数株主持分	982	986
純資産合計	5,134,583	5,174,546
負債純資産合計	17,601,223	16,866,938

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	13,718,216	14,057,356
売上原価	11,170,166	11,504,802
売上総利益	2,548,049	2,552,553
販売費及び一般管理費	2,480,655	2,461,165
営業利益	67,393	91,388
営業外収益		
受取利息及び配当金	16,586	16,251
不動産賃貸料	29,820	31,729
その他	29,154	22,550
営業外収益合計	75,560	70,531
営業外費用		
支払利息	53,822	48,469
その他	—	2,017
営業外費用合計	53,822	50,487
経常利益	89,131	111,431
特別利益		
固定資産売却益	30	—
投資有価証券売却益	1,061	—
特別利益合計	1,091	—
特別損失		
投資有価証券評価損	26,542	—
固定資産除却損	5	1,498
減損損失	3,340	2,430
特別損失合計	29,889	3,929
税金等調整前四半期純利益	60,333	107,502
法人税、住民税及び事業税	96,398	71,216
法人税等調整額	△30,462	△7,050
法人税等合計	65,936	64,165
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△5,602	43,336
少数株主利益	4	4
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,606	43,332

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△5,602	43,336
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△80,848	47,220
その他の包括利益合計	△80,848	47,220
四半期包括利益	△86,451	90,557
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△86,455	90,553
少数株主に係る四半期包括利益	4	4

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	60,333	107,502
減価償却費	204,249	197,976
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8,100	8,262
貸倒引当金の増減額(△は減少)	20,197	△5,116
退職給付引当金の増減額(△は減少)	71,090	35,238
受取利息及び受取配当金	△16,586	△16,251
支払利息	53,822	48,469
有形固定資産売却損益(△は益)	△30	—
有形固定資産除却損	5	1,498
減損損失	3,340	2,430
投資有価証券評価損益(△は益)	26,542	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,061	—
売上債権の増減額(△は増加)	148,427	618,232
たな卸資産の増減額(△は増加)	△33,098	△213,733
仕入債務の増減額(△は減少)	87,755	△120,315
その他	△13,804	△95,921
小計	619,284	568,271
利息及び配当金の受取額	16,569	16,380
利息の支払額	△46,257	△55,001
法人税等の支払額	△23,606	△152,126
営業活動によるキャッシュ・フロー	565,990	377,524
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	100,000
有形固定資産の取得による支出	△28,497	△42,243
有形固定資産の売却による収入	38	—
有価証券の償還による収入	—	50,000
投資有価証券の取得による支出	△5,948	△5,969
投資有価証券の売却による収入	11,046	—
無形固定資産の取得による支出	—	△16,593
その他	△4,898	13,201
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,260	98,394
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△480,000	△220,000
長期借入れによる収入	500,000	—
長期借入金の返済による支出	△281,600	△318,000
配当金の支払額	△50,108	△50,103
リース債務の返済による支出	△51,599	△55,202
自己株式の取得による支出	△135	△490
財務活動によるキャッシュ・フロー	△363,443	△643,797
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	174,285	△167,877
現金及び現金同等物の期首残高	3,135,613	3,381,825
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,309,898	3,213,948

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	6,450,250	7,267,966	13,718,216
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	6,450,250	7,267,966	13,718,216
セグメント利益	231,048	52,697	283,745

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	283,745
全社費用(注)	△216,352
四半期連結損益計算書の営業利益	67,393

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	加工食品事業	食肉事業	計		
減損損失	—	—	—	3,340	3,340

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	6,607,398	7,449,957	14,057,356
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	6,607,398	7,449,957	14,057,356
セグメント利益	279,040	25,565	304,605

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	304,605
全社費用(注)	△213,217
四半期連結損益計算書の営業利益	91,388

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	加工食品事業	食肉事業	計		
減損損失	—	—	—	2,430	2,430